

第2回 横浜市磯子公会堂指定管理者選定委員会会議録	
日 時	令和6年8月20日（火）14時～16時
開催場所	磯子区役所3階302会議室
出席者	川添委員（横浜国立大学名誉教授） 坂本委員（NPO 法人夢・コミュニティ・ネットワーク代表） 三上委員（洋光台連合自治町内会前会長） 屋代委員（磯子区民生委員児童委員協議会会長） 芳垣委員（東京地方税理士会横浜南支部税理士）
欠席者	なし
開催形態	一部非公開（傍聴者3名）
議 題	1 面接審査 2 審査・選定
決定事項	1 第2回委員会の一部非公開の確認について 第1回委員会で決定したとおり、議題1の面接審査（プレゼンテーション及び質疑応答）は公開とし、議題2の審査・選定は非公開とする。 2 指定候補者について 応募書類審査及び面接審査の結果、次の団体を指定候補者として磯子区長に報告する。 ・指定候補者 株式会社清光社
議 事	会議の公開・非公開について、第1回委員会で決定したとおり、面接審査を公開とし、その後の審査・選定は非公開とすることを確認した。 事務局から、応募は1団体で、応募者資格の欠格事項に該当しないことについて報告した。 1 面接審査 応募団体のプレゼンテーション15分間、質疑応答20分間程度で実施。 (1) 応募団体によるプレゼンテーション 事業計画等について説明があった。 (2) 質疑応答 (委 員) 管理運営体制における「統括担当者」について、磯子公会堂に常駐する職員ではないのか。また、災害等緊急時は、直ちにかけてられる体制か。 (団 体) 統括担当者は本社勤務の職員で、指定管理の各施設に1名配置している。有事の際、統括担当者が対応できない場合には、担当者の上司が必ず動けるよう、体制を整えている。 (委 員) 危機管理の体制について、例えば夜中に地震や津波が発生した場合等、現在の人員配置で24時間の対応は可能か。 (団 体) 交通機関が動いていない時間帯に災害が発生した場合、タクシーを使えない可能性もあることから、社用車を用意している。また、施設から徒

歩圏内のスタッフも多い。緊急時には、統括担当者を含め、複数名で対応できる体制を取りたいと考えている。また、区側とも密に連携を取り、対応していきたい。

(委員) 利用促進のための「夜間スタンプカード」について、夜間のみ導入している理由は、稼働率が低いことによるものか。昼間の時間帯でも導入したらどうか。

(団体) 磯子公会堂を含め、すべての公会堂について、昼間に比べて夜間の稼働率が低い傾向があることから、第三期も実施する。

(委員) 施設のDX化に係る対応は、以前から必要性が議論されている。第三期中に実施予定とあるが、できるだけ速やかに実施すべきと考える。

(団体) 横浜市において、直近で全公会堂共通の予約システム導入の予定がないのであれば、早急に進めたい。

(委員) 自主事業を年30件以上実施予定とあるが、内容はどのように企画したか。

(団体) 講堂で実施する自主事業については、第二期に実施したアンケートの結果を反映させた内容となっている。

(委員) 例えば、要望が1番の映画観賞会について、映画といっても様々なジャンルがあるが、ターゲットはどのように決めているのか。

(団体) 大人向けと子供向けで、それぞれ1回ずつの開催を予定している。実施したアンケートは、具体的な要望をくみ取れる内容となっていなかったため、今後は内容を工夫し、各世代に喜んでもらえるテーマを検討したい。

(委員) 自主事業計画におけるアウトリーチ活動について、具体的にはどのような取り組みを考えているのか。

(団体) 久良岐能舞台、地区センター等で開催されるイベントに磯子公会堂として出演する。第二期は新型コロナウイルス感染症の影響により、思うような活動ができなかった時期もあったため、第三期においては「磯子こうかいどーず」のメンバーだけでなく、利用団体と一緒に活動することで、活動の幅を広げたいと考えている。

(委員) 磯子公会堂の舞台設備について、以前利用した際、反射板の間からバトン(幕等)がおろせない構造であったが、改修の予定はないか。

(団体) 改修はされていない(天井反射板の上にバトン類があるため、おろせない)。

(委員) 次の3点についての考えを教えてください。1点目は、磯子区の特徴をどう捉え、どのような取組に力を入れようと考えているか。2点目は、「運営業務の実施方針」に「すべての年代が利用しやすい施設づくり」とあるが、一般的に取り込むことが難しいと言われていた若い世代に対してはどのようなアプローチを考えているのか。3点目は、人権研修等のスタッフ研修について、どのような課題意識をもって研修を実施し、どのように運営に活かそうと考えているか。

(団 体) 磯子区ではなく、磯子公会堂の特徴になるが、自社で管理する4つの公会堂において、同じ設問の利用者アンケートを実施している中で、磯子公会堂においては、選択した理由として、「サービス」を上げている割合が、他の施設に比べて高く、「利便性」の割合が低い。区外利用者が多いことが特徴と考えている。

若い世代の利用促進としては、第2期中に本社スタッフにSNSの選任者を配置し、インスタグラムを開設した。今後、更新頻度を高めることで、若い世代への周知を進めたいと考えている。

人権研修については、年1回、外部講師を招いて実施している。また、磯子公会堂は、障害がある方や外国の方等、色々な方が利用するため、様々なイベント実施を通じて、お互いを知る機会を設けたいと考えている。

(委 員) 第2期の利用者満足度は95.4%とあるが、満足度が低い4.6%の方ほどのような点を不満に感じているのか。

(団 体) アンケートは、「満足」「普通」等の5項目を選択する内容であり、4.6%の中には、「普通」と回答した方も含まれる。具体的な選択理由が書かれていないアンケートも多いが、空調や特定の団体のみが利用する器具等の設置等、取り入れることが難しい要望もあり、満足に至っていない可能性もある。

2 審査・選定

【応募団体の財務状況について】

委員から応募団体の財務状況について説明があり、施設の運営には問題のない財務状況であることが報告された。

【審査結果】

株式会社清光社 687点 (評価基準「5団体の資質・取組状況・実績」の項目を含む)

634点 (評価基準「5団体の資質・取組状況・実績」の項目を除く)

満点：950点 (評価基準「5団体の資質・取組状況・実績」の項目を含む)

最低基準点：525点

(評価基準「5団体の資質・取組状況・実績」の項目を除く各委員の持ち点175点×5人=875点の6割)

最低基準を満たしており、株式会社清光社を指定候補者として選定し、磯子区長へ報告することを決定した。

	<p>【委員講評】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体としては、慣れていて手堅いという印象を受けた。DX化に係る対応については、要求に応えた提案となっている。また、夜間の新たな利用コマ新設等、細かい点を工夫しようとする姿勢が見える。 ・施設の利用促進において、新たな取組の提案があり、他の施設にはないサービスを打ち出している点が、評価できる。その反面、地域特性の反映という面で、磯子ならではの内容が具体的に示されると、より良かった。また、研修の実施についても、研修がどのように活かされるのか、といった点が見えたらより良かった。 ・自主事業の実施について、第二期から更に発展させ、挑戦しようとする姿勢が見える。事業全体としても意欲的に取り組む姿勢が見え、評価できる。
<p>資 料</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 委員会タイムスケジュール 2 応募団体からの提出書類（1団体） 3 現指定管理者運営実績評価資料